

2026年1月28日

各 位

会社名 東邦レマック株式会社
代表者名 代表取締役社長 笠井 信剛
(東証スタンダード市場 コード番号 7422)
問合せ先 執行役員管理本部長
兼経理部部長 那須 友明
(TEL. 03-3834-4335)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

2025年12月期において、下記のとおり特別損失の計上をするとともに、2025年1月31日に公表いたしました通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社は2025年12月期中に既存事業や各取引の本格的な見直しを実施し不採算事業を洗い出しました。その結果、当社が展開してまいりました海外ブランド事業について、2026年2月20日をもって撤退することを決定いたしました。その影響により、在庫処理による販売価格低下の可能性が予測されることから、棚卸資産の評価を見直した結果79百万円を事業撤退損として特別損失に計上することとし、また、当該事業撤退に伴う人員体制の見直しにより特別退職金14百万円が発生することになったため、合計93百万円を事業撤退損として特別損失に計上することいたしました。尚、今後も詳細な事業分析を継続し、不採算事業を徹底的に監視し、迅速に適切な対応をいたします。

2. 通期業績予想の修正 (2024年12月21日～2025年12月20日) (金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	5,795	150	160	130	円 銭 25.55
今回修正 (B)	4,547	△120	△99	17	3.35
増減額 (B-A)	△1,248	△270	△259	△113	—
増減率 (%)	△21.5	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2024年12月期)	5,105	73	132	124	24.44

※ 不動産事業に係わる会計方針の変更により、前期の数値は遡及適用後の数値となっております。

(注) 上記予想は、発表日現在の情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

修正の理由

2025年1月31日に公表しました通期業績予想に対し、売上高につきましては、紳士靴、特にビジネスシューズは前年同期比114.0%増となり好調でしたが、主力の婦人靴においては前年同期比88.0%と女性向け中価格帯製品市場の競争激化により予想を下回りました。営業利益につきましては、国内向けブランド2つを廃止・縮小とする意思決定をし、棚卸資産の評価を見直した結果、一時的な損失が発生したことにより売上総利益が減少し、海外ブランドの経常的な損失に加え、販売費及び一般管理費の増加もあり予想を大きく下回りました。経常利益、当期純利益につきましても、前年並みの営業外収益を計上できず、暗号資産評価損18百万円等の営業外費用が増加したこと、既に開示済みである固定資産売却益及び投資有価証券売却益の特別利益計上はありましたが、上記「1. 特別損失の計上」にて記載した特別損失の計上により、予想を下回る修正をいたしました。

以上